

2020年度

# 学力テスト 小4①A

かいとう ・ かいせつ

## 解答・解説

# 4 月

# かいとう 算数解答

|                        |   |     |      |      |   |
|------------------------|---|-----|------|------|---|
| 3点<br>(×)<br>小計<br>/18 | 1 | (1) | 482  | 1    |   |
|                        |   | (3) | 2088 | 3    |   |
|                        |   | (5) | 9    | 5    |   |
|                        |   | 2   | (2)  | 529  | 2 |
|                        |   |     | (4)  | 1825 | 4 |
| (6)                    | 7 | 7   | 6    |      |   |

完答  
あまり 3

|                        |     |     |                |                |    |     |    |    |
|------------------------|-----|-----|----------------|----------------|----|-----|----|----|
| 3点<br>(×)<br>小計<br>/42 | 2   | (1) | ①              | 8              | 7  |     |    |    |
|                        |     |     | ③              | $\frac{5}{9}$  | 9  |     |    |    |
|                        |     |     | ①              | 8              | 11 |     |    |    |
|                        |     | (2) | ③              | 68             | 13 |     |    |    |
|                        |     |     | (3) イ, エ 順不同完答 |                |    | 14  |    |    |
|                        |     | 3   | (1)            | ①              | 5  | m   | 68 | cm |
|                        | ③   |     |                | 4              | kg | 100 | g  | 17 |
|                        | (2) |     |                | 1              | km | 350 | m  | 19 |
|                        | 2   |     | ②              | 2.6            | 8  |     |    |    |
|                        |     |     | ④              | $\frac{6}{13}$ | 10 |     |    |    |
|                        | ②   | 9.2 | 12             |                |    |     |    |    |

|                        |     |     |                    |    |    |
|------------------------|-----|-----|--------------------|----|----|
| 3点<br>(×)<br>小計<br>/12 | 4   | (1) | 30                 | cm | 21 |
|                        |     | (2) | 29                 | cm | 22 |
|                        |     | (3) | 30                 | cm | 23 |
|                        |     | (4) | 点 イ, ウ, エ, カ 順不同完答 |    |    |
|                        | (5) | ①   | 5                  | cm | 25 |

|   |    |    |    |
|---|----|----|----|
| ② | 10 | cm | 26 |
|---|----|----|----|

|                        |   |     |    |    |    |    |
|------------------------|---|-----|----|----|----|----|
| 4点<br>(×)<br>小計<br>/20 | 5 | (1) | ①  | 2  | 人  | 27 |
|                        |   |     | ②  | 13 | 人  | 28 |
|                        |   | (2) | ①  | 9  | さつ | 29 |
|                        | ② |     | 23 | さつ | 30 |    |
|                        | ③ |     | 3  | さつ | 31 |    |

# かい せつ 解 説

① (4) 筆算は右のようになります。

(6) 答えのたしかめをすると、「わる数×答え+あまり  
=わられる数」より、 $4 \times 7 + 3 = 31$

$$\begin{array}{r} 73 \\ \times 25 \\ \hline 365 \\ 146\phantom{0} \\ \hline 1825 \end{array}$$

② (1)①② 筆算は、右のように小数点をたて  
にそろえて書き、整数と同じよう  
に計算し、上の小数点にそろえて  
答えの小数点をうちます。

① 
$$\begin{array}{r} 4.6 \\ + 3.4 \\ \hline 8.0 \end{array}$$

② 
$$\begin{array}{r} 8.2 \\ - 5.6 \\ \hline 2.6 \end{array}$$

①では、 $\frac{1}{10}$ の<sup>ちがひ</sup>位の0と小数点を  
消すのをわすれないようにします。

③④ 分母はそのまま、分子どうしを計算します。

(2)①  $1 = \frac{8}{8}$ です。 $\frac{8}{8}$ は $\frac{1}{8}$ を8こ集めた数です。

② 1が9こで9、0.1が2こで0.2です。 $9 + 0.2 = 9.2$

③ 6.8は6と0.8を合わせた数です。0.1が10こで1だから、6は0.1を  
60こ集めた数です。0.8は0.1が8こだから、6.8は0.1を、 $60 + 8 =$   
68(こ)集めた数です。

(3) ア… $\frac{1}{10} = 0.1$ だから、 $\frac{1}{10} > 0$ です。

イ…0.6は $0.1(\frac{1}{10})$ を6こ集めた数だから、 $\frac{6}{10} = 0.6$ です。

ウ… $1 = \frac{10}{10}$ だから、 $\frac{9}{10} < \frac{10}{10}$ より、 $\frac{9}{10} < 1$ です。

エ… $\frac{5}{10} = 0.5$ だから、 $0.5 > 0.3$ より、 $\frac{5}{10} > 0.3$ です。

よって、正しく表しているのはイとエです。

③ (1)①  $1\text{m} = 100\text{cm}$ です。 $568\text{cm} = 500\text{cm} + 68\text{cm} = 5\text{m} + 68\text{cm}$   
 $= 5\text{m}68\text{cm}$

②  $1\text{L} = 10\text{dL}$ です。

$$2\text{L}7\text{dL} = 2\text{L} + 7\text{dL} = 20\text{dL} + 7\text{dL} = 27\text{dL}$$

③  $1\text{kg} = 1000\text{g}$ です。

$$1\text{kg}300\text{g} + 2\text{kg}800\text{g} = 3\text{kg}1100\text{g} = 4\text{kg}100\text{g}$$

④ 1時間=60分です。

$$4\text{時間}15\text{分} - 1\text{時間}40\text{分} = 3\text{時間}75\text{分} - 1\text{時間}40\text{分} = 2\text{時間}35\text{分}$$

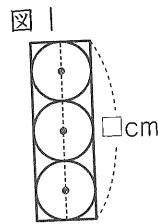
(2)  $1\text{km} = 1000\text{m}$ です。 $870\text{m} + 480\text{m} = 1350\text{m} = 1\text{km}350\text{m}$

(3)  $1\text{L} = 1000\text{mL}$ 、 $1\text{dL} = 100\text{mL}$ です。 $800\text{mL} = 8\text{dL}$ だから、  
大きな水そうの水のかさは、 $6\text{L}2\text{dL} - 8\text{dL} = 5\text{L}12\text{dL} - 8\text{dL}$   
 $= 5\text{L}4\text{dL}$ になり、小さな水そうの水のかさは、 $2\text{L}7\text{dL} + 8\text{dL}$   
 $= 2\text{L}15\text{dL} = 3\text{L}5\text{dL}$ になりました。

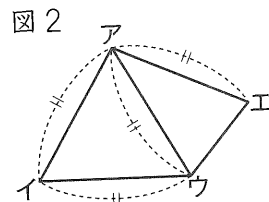
よって、2つの水そうの水のかさのちがいは、

$$5\text{L}4\text{dL} - 3\text{L}5\text{dL} = 4\text{L}14\text{dL} - 3\text{L}5\text{dL} = 1\text{L}9\text{dL}$$

④ (1) 箱を正面から見ると、右の図1のように、箱の高さは  
ボールの直径<sup>ちがひ</sup>3分の長さになります。ボールの直径は、  
 $5 \times 2 = 10(\text{cm})$ だから、箱の高さは、  
 $10 \times 3 = 30(\text{cm})$

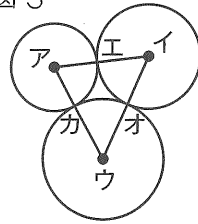


(2) 三角形アイウは正三角形だから、アイの長さ  
は、 $24 \div 3 = 8(\text{cm})$ です。右の図2で、同じ  
印をつけた<sup>しほ</sup>辺の長さは等しいから、二等辺三角  
形のウエの長さは、 $21 - 8 - 8 = 5(\text{cm})$ にな  
ります。よって、四角形アイウエのまわりの長  
さは、 $8 + 8 + 5 + 8 = 29(\text{cm})$ です。



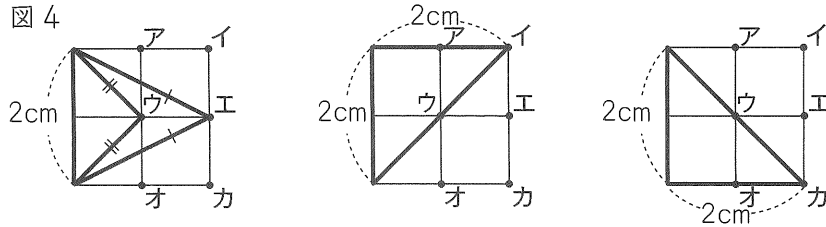
(3) 右の図3で、アエ=アカ=4cm、イエ=イオ=5cm、ウオ=ウカ=6cmだから、アイ=4+5=9(cm)、イウ=5+6=11(cm)、ウア=6+4=10(cm)になります。よって、三角形アイウのまわりの長さは、 $9+11+10=30$ (cm)

図3



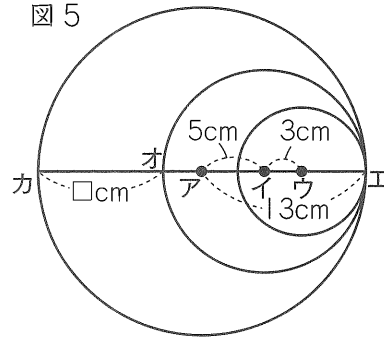
(4) 下の図4のように、ウ、エ、イ、カをえらぶとそれぞれ二等辺三角形ができます。

図4



(5)① 右の図5で、点アを中心とする円の半径はアエで13cmです。点ウを中心とする円の半径はウエで表されるから、 $ウエ=13-5-3=5$ (cm)

図5



② □cmは、点アを中心とする円の直径(図のカエ)から点イを中心とする円の直径(図のオエ)をひいて求めることができます。

点アを中心とする円の直径は、 $13 \times 2 = 26$ (cm)、点イを中心とする円の半径(イエ)は、 $3 + 5 = 8$ (cm)だから、直径は、 $8 \times 2 = 16$ (cm)です。よって、 $\square = 26 - 16 = 10$ (cm)

5 (1)① 野球のぼうは6目もりです。たてのじくは12人を6目もりで表しているから、1目もりは、 $12 \div 6 = 2$ (人)です。

② サッカーは18人、ラグビーは5人だから、 $18 - 5 = 13$ (人)

\*1目もりの半分は1人で、ちがいは6目もり半だから、13人

(2)① 下の表のアにあてはまる数で、 $24 - 8 - 7 = 9$ (さつ)

| 種類 \ 月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|
| 物語     | 8  | ア  | 7  | 24 |
| 伝記     | 8  | 3  | 5  | イ  |
| 科学     | 6  | ウ  | エ  | 17 |
| 社会     | 3  | オ  | カ  | 9  |
| 合計     | キ  | 18 | ク  | ケ  |

② 上の表のクにあてはまる数を求めます。

$イ = 8 + 3 + 5 = 16$ ,  $ケ = 24 + イ + 17 + 9 = 24 + 16 + 17 + 9 = 66$

$キ = 8 + 8 + 6 + 3 = 25$ ,  $ク = ケ - キ - 18 = 66 - 25 - 18 = 23$ (さつ)

③ 3月に貸し出された社会の本は上の表の力、2月と3月に貸し出された科学の本は、それぞれ表のウ、エにあてはまります。

3月について、 $エ + カ = 23 - 7 - 5 = 11$ であること、問題の㊦より、力は7, 5, エの3つの数より小さいことから、力は、0, 1, 2, 3, 4のどれかです。\*下線部●より、カ=4のときエ=7, カ=3のときエ=8, ...で、エは力より大きくなり、㊦にあてはまることがわかります。

社会の本について、 $オ + カ = 9 - 3 = 6$ であること、問題の㊧より、力は3, オの2つの数より大きいことから、力は、4, 5, 6のどれかです。

\*下線部■より、カ=4のときオ=2, カ=5のときオ=1, カ=6のときオ=0で、力はオより大きくなり、㊧にあてはまることがわかります。

どちらにもあてはまるのは4だから、力は4です。

よって、表のエは、 $11 - カ = 11 - 4 = 7$ , ウは、

$17 - 6 - エ = 17 - 6 - 7 = 4$ となるから、ウとエのちがいは、 $7 - 4 = 3$ (さつ)です。

# 国語解答

かいとう

| 小計  |       | 4点    | 減点  |
|-----|-------|-------|-----|
| 40  | ( × ) | - [ ] |     |
| (8) | (7)   | (6)   | (5) |
| ウ   | し     | イ     | な   |
| 35  | び     | 33    | か   |
| (9) | れ     |       | げ   |
| エ   | て     |       | ち   |
| 36  | し     |       | や   |
|     | ま     |       | ん   |
|     | う     |       | を   |
|     |       |       | び   |
|     |       |       | つ   |
|     |       |       | く   |
|     |       |       | り   |
|     |       |       | さ   |
|     |       |       | せ   |
|     |       |       | 32  |

| 小計  |       | 3点 |
|-----|-------|----|
| 12  | ( × ) |    |
| (3) | (1)   |    |
| ①   | ①     |    |
| 仕   | 早     |    |
|     |       |    |
| ②   | ②     |    |
| 使   | 速     |    |
|     |       |    |
| ④   | ②     |    |
| 注   | 開     |    |
|     |       |    |
| ②   | ②     |    |
| 柱   | 明     |    |
|     |       |    |
| ⑧   | ④     |    |
| 新聞  | きたい   |    |
|     |       |    |
| 8   | 4     |    |

(1)~(4)各完答。漢字以外不可

| 小計  |       | 2点 |
|-----|-------|----|
| 8   | ( × ) |    |
| (3) | (1)   |    |
| 軽   | 勝     |    |
|     |       |    |
| ④   | ②     |    |
| 寒   | 短     |    |
|     |       |    |
| 16  | 14    |    |

(1)~(4)漢字以外不可

| 小計  |       | 2点 |
|-----|-------|----|
| 4   | ( × ) |    |
| (2) | (1)   |    |
| を   | に     |    |
|     |       |    |
| 18  | 17    |    |

(1)・(2)ひらがな以外不可

| 小計  |       | 2点 |
|-----|-------|----|
| 8   | ( × ) |    |
| (3) | (1)   |    |
| ア   | ウ     |    |
|     |       |    |
| 21  | 19    |    |
| ④   | ②     |    |
| オ   | イ     |    |
|     |       |    |
| 22  | 20    |    |

| 小計  |       | 3点 |
|-----|-------|----|
| 12  | ( × ) |    |
| (3) | (1)   |    |
| 走   | 泳     |    |
| り   | ぎ     |    |
| ま   | ま     |    |
| し   | す     |    |
| よ   | う     |    |
| う   | す     |    |
|     |       |    |
| 25  | 23    |    |
| ④   | ②     |    |
| 行   | き     |    |
| き   | れ     |    |
| ま   | い     |    |
| せ   | で     |    |
| ん   | した    |    |
|     |       |    |
| 26  | 24    |    |

(1)~(4)表記は漢字・ひらがなを問わない

- (5) (別例)「桜の精を、おどろかせないようにするため。」  
 (別例)「桜の花のかけがびっくりしないようにするため。」  
 (別例)「女の子が、おどろかないようにするため。」  
 ・「びっくりさせない・おどろかせない・びっくりしない・おどろかない (ようにするため)」にあたる内容がないものは0点。  
 ・「花かげちゃん・花かげ・桜の精・桜の花のかけ・女の子」にあたることばがないものは-2点。

# かい せつ 解 説

## 1 漢字の読み書き

## 2 同じ読み方をする漢字

- (1) 「早い」は、時こくや時期・年月が前であることを表します。「速い」は、スピードがあつて時間がかからないという意味です。
- (2) 「開ける」は、戸・まど・ふたなどをひらくことです。「明ける」は、ある期間が終わることです。

## 3 反対の意味を持つ漢字

- (1) は、「勝つ」と「負ける」で「勝負」というじゆく語があります。同じように、(2) の「長い」「短い」で「長短」、(3) の「軽い」「重い」で「軽重」というじゆく語があります。(4) は、気温の「暑い」の反対は「寒い」です。「熱い」の場合は、反対は「冷たい」になります。「ていをは」

## 4

全文体を読んで、前後の内容がつながることはを入れましょう。□の直前と直後のことばだけで考えるのではなく、全文体で意味が通っているかをたしかめます。

## 5

### 呼応することば

あとにつづく部分の言い方に注意して、ふさわしいことばをえらびましょう。(1) は「どうしてか」、(2) は「きつとくだらう」、(4) は「けつしてくはない」ということばの組み合わせになっています。(3) は、あとが「したら」という形の、まだ決まっていなことを話題にすることばになっているので、「もし」がむすびつきます。

## 6

### 文末表現

「ます」や「です」を文末に用いることで、ていねいに表すことができます。「ましょ(う)」「のように」、「ます」「です」の形がかわることに注意しましょう。また、「ます」は、打ち消しの意味が加わると「ませ(ん)」という形になることにも気をつけます。

## 7

### 物語(安房直子「緑のスキップ」〈きつねの窓〉所収)より

- (1) 「みみずくは番兵ばんべいでした。毎夜毎夜、見はりをしていたのでした」とあります。
- (2) みみずくが、「花は、けつして散らすもんか」と思っていることに着目しましょう。
- (3) 「まるでうよう(だ)」という形のたとえの表現や、「花の歌声」と、人でないものを人のようにたとえる表現が使われています。

(4) ① 花かげちゃんはなかげちゃんは、「うすいさくら色の着物をいく枚まいもかさねてきていました」とあるので、工たくがふさわしくありません。

② みみずくは、「すつかりうれしくなつて」います。

(6) 「花が散つたら、消えてしまふのよ」という花かげちゃんの言葉に着目します。みみずくは、そんな花かげちゃんの「番兵」として、「悪者がしのびこんで、あの子(花かげちゃん)をさらって行かないように、そして、花の季節きせつがけつして終わらないように」番をしていきます。みみずくが、花かげちゃんが消えてしまふのをふせぐためには、桜さくらの花を散らせてはいけな

いと考えていることが読み取れます。

(8) 本文のはじめのほうにある、「すぐにとびかかるともりでした。そのために、つめも、くちはしも、よくみがいていました」に着目しましょう。

(9) アは「毎日花かげちゃんとおしゃべりする」、イは「ひとりじめするためにくたたかった」、ウは「花かげちゃんにたのまれて、桜がさいている間は」が、それぞれまちがいです。